

続 「長寿のためのコレステロールガイドライン」

作用メカニズムから見たコレステロール低下医療の危険性

監修 日本脂質栄養学会

編著者：

奥山治美、浜崎智仁、大櫛陽一、浜 六郎、小林哲幸、内野 元、籠橋有紀子

目 次

序文	4
Abstract	6
はじめに — 世紀の危機に直面する臨床論文とガイドライン	7
I 冠動脈心疾患とスタチン—その有効性は示されていない	9
II 脳血管障害とスタチン—コレステロールと飽和脂肪酸は防御因子	33
III 癌、感染症とスタチン—高LDL-C 値は防御因子	48
IV スタチンの免疫抑制作用	79
V 糖尿病にスタチンは禁忌—緊急提言	82
VI 心不全を発症させるスタチン	94
VII 寿命、中枢・末梢神経機能とスタチン	107
VIII 小児成人病に対するスタチン処方—癌、奇形、生殖生理	112
おわりに—良質で適切な医療のために	118
補遺—植物油の内分泌かく乱作	121
図表一覧	124
さくいん	127
コレステロール低下医療の方向転換の必要性を強調する出版物	130

発行所：西海出版(株) (小川雅子)

E-Mail: sks-planning@able.ocn.ne.jp

電話 03-5674-6054 ; Fax 03-5674-4458

定価 2,200 円 (+税)